

エトロフウミスズメ

2015年2月26日

愛車の走行距離が20万^{キロ}、車検も明日まで、廃車に決まっている。閉伊川は今シーズン最後だろう、しかしオジロに会えない、残念！

現場で会った知人と1時間ほど話しをする、来シーズンまでお会いしない人だ。

出崎埠頭に11時に着く、オオワシが待っていた。

トロール船入港前に加工場の廃棄物に混じった魚を捕る。トロール船入港後、2回トライするが失敗して定位置で待ち続けるが水揚げも終わりエサ捕りが厳しい時間になる。

16時ちょい過ぎ、会員のK君が現われる、二人でトロール船の傍で飛び立ちを待っていると、ウミスズメだ！ K君が叫ぶ。

16時29分、① 1羽の地味な鳥が岸壁と船の間に入り込んだ。暗くて速いシャッター切れない、出てくるまで待つしかない。② 次の船に入る前に撮れた。

2船目に入り途中でUターンする。また最初の船に入り込む、出てくるまで追いかける。岸壁スレスレに埠頭の先端方向へ、今度は防舷材が邪魔になる。

やっと先端を曲がってくれた、③ ④ ⑤ そこで短い羽ばたきをする。⑥ ⑦ ⑧ 次は狙ったような動きが撮れた、ヤッター！

忘れていたオオワシは岸壁からエサ捕りし、食事も終わって天空高く飛んでいた、それもK君が見つけてくれた。

帰宅して調べてみると、黒いカールした冠羽がある、ウミスズメでない。顧問にメールする、すぐエトロフウミスズメと連絡いただく。

体長24^{センチ}、体色は灰黒褐色、冬羽は冠羽が短く飾り羽が不明瞭とか。嘴は橙黄色。冬鳥として北日本の海上に渡来するが多くないという。まして岸壁に現れるとは、オオワシ以上の出会いとなった。K君有り難う！



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧